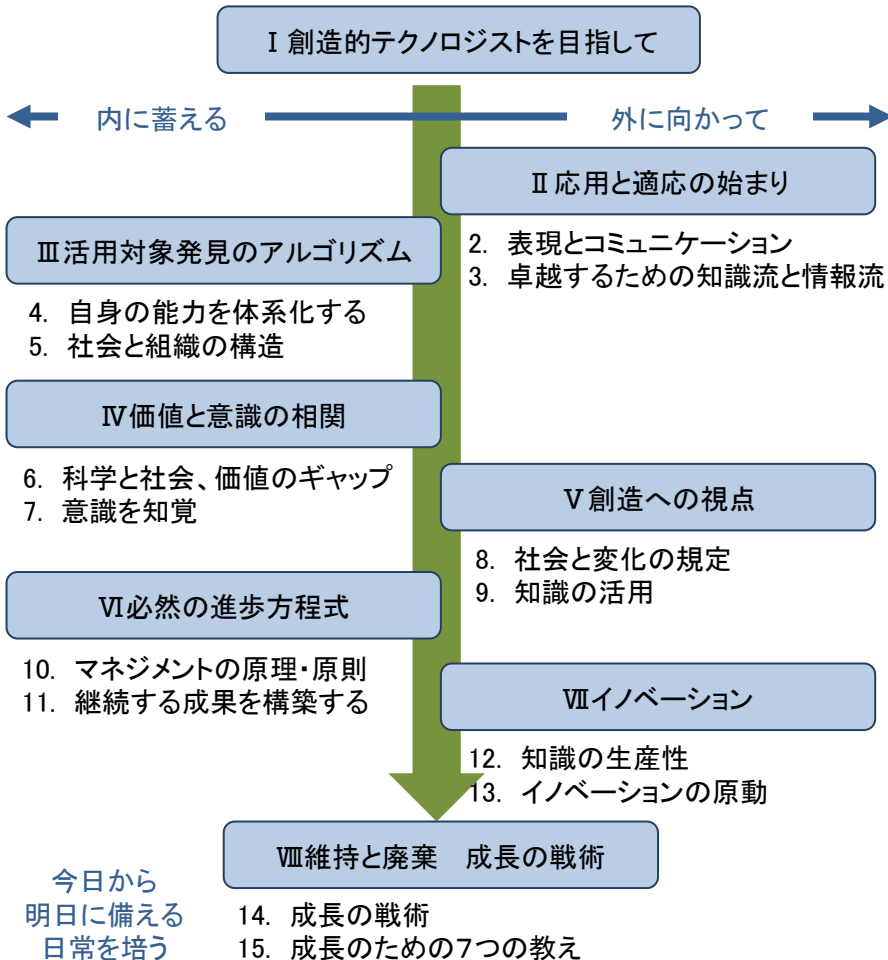


キャリアアップセミナー

ここに挙げたカリキュラムは30時間のセミナーである。実際に、5日間の連続したセミナーでは効果が少ない。1週間に1日1回として、5回、または6回に分割する方が効果がある。または、一つの項目を取り出して、1日セミナーとするのも良いだろう。



■セミナー意図

従来、1組織内でのキャリアアップが試みられていたが、労働形態の変化と共に適応しなくなっている。逆に、組織は、キャリアアップを図る優秀な人材を必要としている。

優秀な人材を育てる組織には優秀な人材が集まる。キャリアアップを人材に期待し、育成すれば、組織自体が社会でのリーダーシップを取りやすくなる。人材を生かし、組織の特異性を高められる。知識、技術は社会で循環し、最適な知識と技術を取り入れやすくなるはずである。

キャリアアップセミナーは、組織として取り扱う場合は、エグゼクティブの養成である。組織の機能の特異化させる人材の育成を目指す。人材と組織、社会への視点を養い、未来に向けた戦略が組み立てられる人材を養成する。

= キャリアアップの目的と効果 =

- ◆ 自らの専門を持って活動ステージを広げる。
- ◆ 自らの得意をもって卓越化を図る。
- ◆ 組織と、社会との関わりを明確にし、自らのミッションを見極める。
- ◆ エグゼクティブとしてのポジションを明瞭にし、発展させる。

■実施形態

キャリアアップには時間がかかる。実践と思考、表現と行動が伴わなければならない。日数がかかるために、状況に応じて、ステップアップした設計をする方が適切である。1回ずつのセミナー目的を現場での適応を含めて設定していく。

左図に表している I ~ VII の区切り方も一つの方法である。

他には、マネジメント、プレゼンを軸にしたコミュニケーション、イノベーション、マーケティング、経営戦略と戦術、起業論、組織内情報論、モチベーションなどの区切り方もある。

集合セミナーとレポートとの組み合わせで進めていくのが、成長確認がとり易いはずである。

☞ テキストは、サンプルとしてHPの【レポート】のタグに表している。全体のテキスト量は150ページ程度である。